様式－1

現場記入用　様式

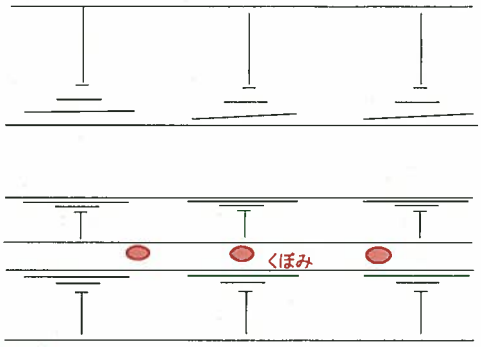
水系名	利根　川	河川名	鬼怒　川	点検者名	小川	点検年月日	平成26年　6月　5日(木)
岸　別	左・右　岸	地先名	宇都宮　市				東汗　地先
場　所	66　km〔 構造物(　橋　)から 上・下 流　m 〕						

■ 点検箇所　：　堤内地・裏のり面・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

平面方向

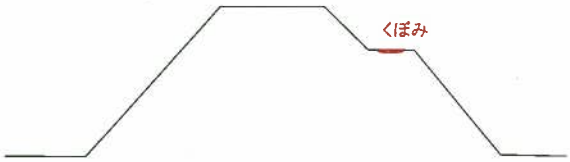
【堤外側】



【堤内側】

横断方向

【堤外側】　【堤内側】



出水期前の標準的な堤防(土堤)の点検事項

点　検　事　項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所よ局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、侵食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	○
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぼり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは濁水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の継目からの漏水・噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、継手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	－

変状に関するコメント

65．75km付近から66．25km付近の堤防川裏小段管理用通路(砂利)に大きなくぼみが約20箇所できている。
降雨時の水たまりになる。

様式－2

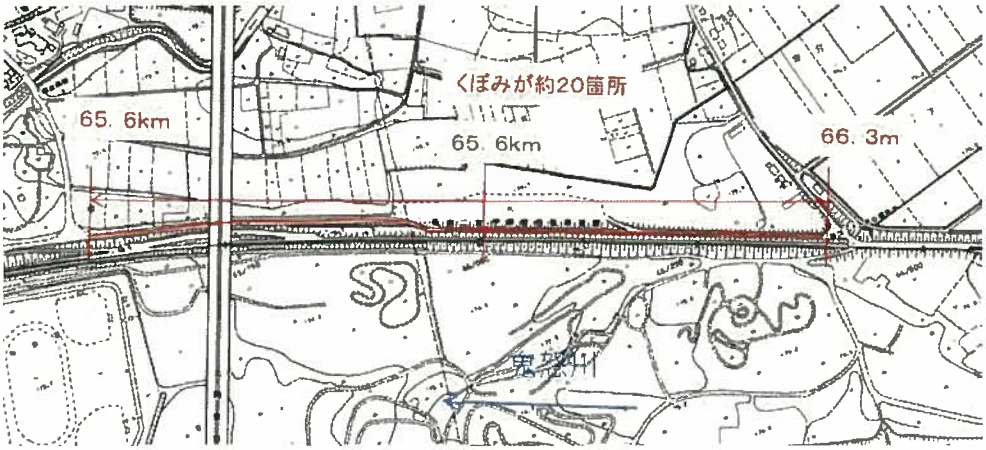
整理番号	

様式-

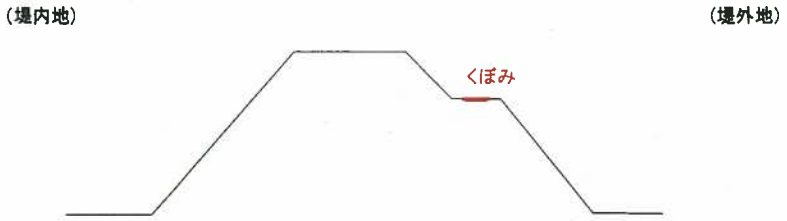
関東地方整備局

水系名	利根川　川	河川名	鬼怒　川				
場　所	キロ	66　Km　付近	左右岸	右　岸	地先名	宇都宮　市　　町　東汗　地先	
点検箇所	川裏小段						

■変状状況図面



【 平 面 図 】



【 断 面 図 】

■変状状況写真

様式－1

現場記入用　様式

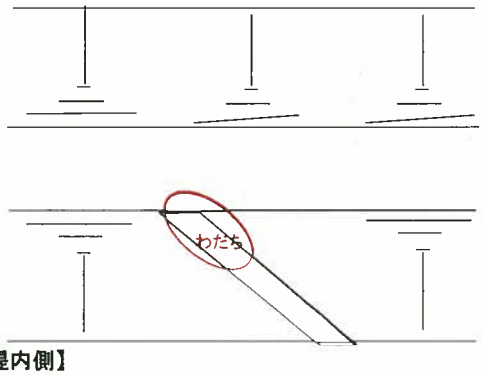
水系名	利根　川	河川名	鬼怒　川	点検者名	小川	点検年月日	平成26年　6月11日(水)
岸　別	㊧・右　岸	地先名	宇都宮　市				竹下　地先
場　所	76.5　km〔 構造物(　橋　)から 上 ・ 下 流　60　m 〕						

■ 点検箇所　：川裏　坂路

■ 状況図面

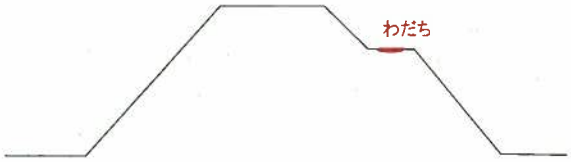
平面方向

【堤外側】



横断方向

【堤外側】　【堤内側】



【堤内側】

出水期前の標準的な堤防(土堤)の点検事項

点　検　事　項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所よ局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、侵食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	○
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぼり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは濁水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の継目からの漏水・噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、継手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

川裏坂路に轍ができている。

様式－2

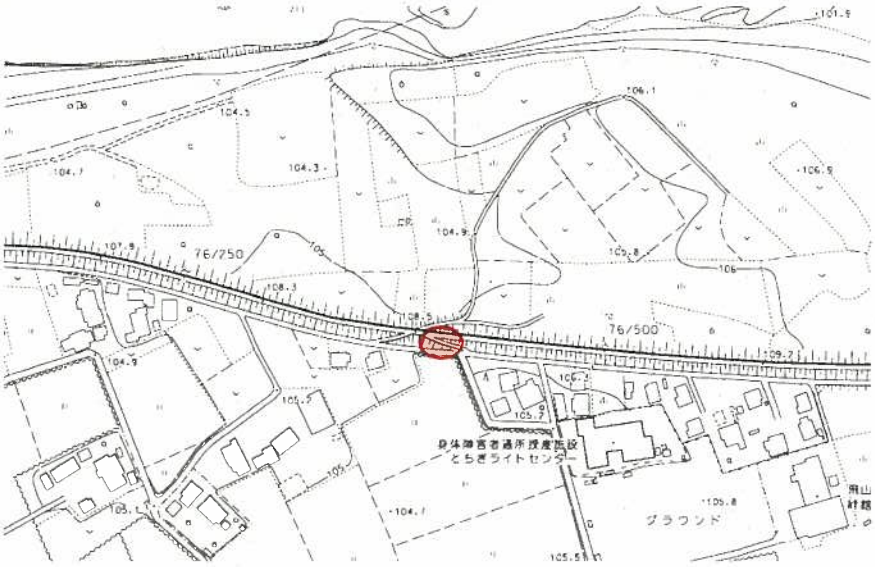
整理番号	

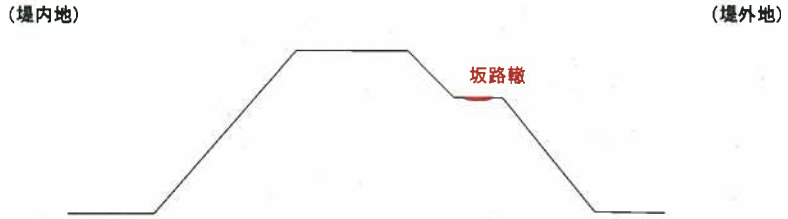
様式-

関東地方整備局

水系名	利根川　川	河川名	鬼怒　川				
場　所	キロ	76. 5 Km 下60m	左右岸	左　岸	地先名	宇都宮　市　　町　竹下　地先	
点検箇所	川裏小段						

■変状状況図面





【 断 面 図 】

■変状状況写真

様式－1

現場記入用　様式

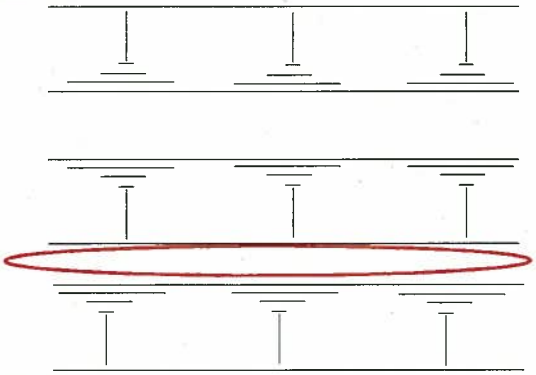
水系名	利根　川	河川名	鬼怒　川	点検者名	田口、秋元、川上、高野	点検年月日	平成26年　5月30日(金)
岸　別	左・(右)　岸	地先名	市・郡　八千代　町　村　大渡戸　地先				
場　所	38.4　km〔 構造物(　橋　)から　上　・　下　流　m 〕						

■ 点検箇所　：　堤内地・(裏のり)面・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

平面方向

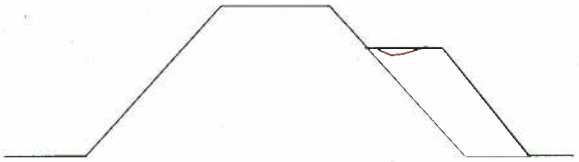
【堤外側】



【堤内側】

横断方向

【堤外側】　【堤内側】



出水期前の標準的な堤防(土堤)の点検事項

点　検　事　項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所よ局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、侵食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	✓
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぼり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは濁水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の継目からの漏水・噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、継手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

舗装が傷んでいる

整理番号	②－1

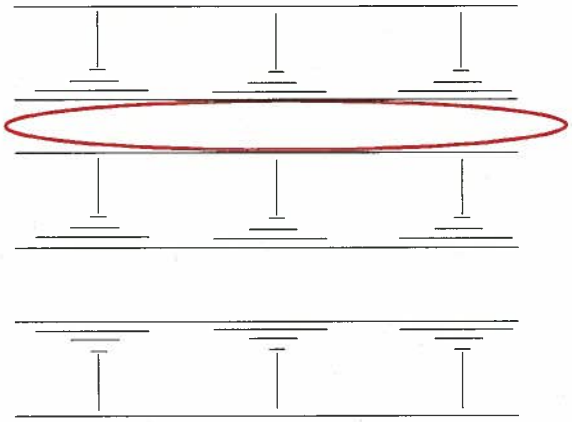
様式-2

関東地方整備局

水系名	利根川　川	河川名	鬼怒　川				
場　所	キロ	38.4km～38.6km	左右岸	右　岸	地先名	結城　郡　八千代　町　大渡戸　地先	
点検箇所	裏法小段管理用通路						

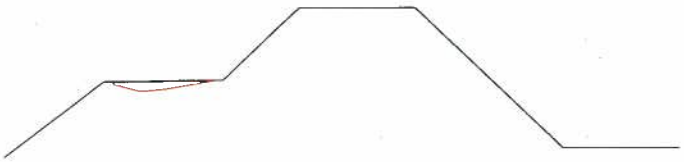
■変状状況図面

延長 約200mに点在している



【 平 面 図 】

（堤内地）　　（堤外地）



【 断 面 図 】

■変状状況写真

舗装が傷んでいる

舗装が傷んでいる

様式－1

現場記入用　様式

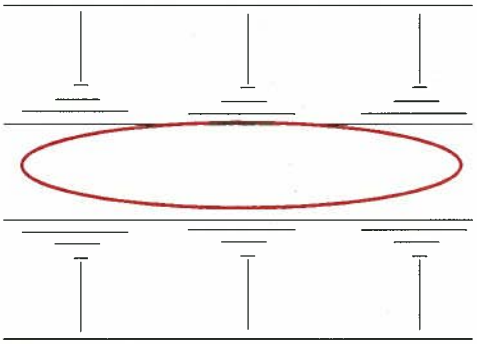
水系名	利根　川	河川名	鬼怒　川	点検者名	外山、佐々木、高野	点検年月日	平成２６年　６月　９日（月）
岸　別	左・右　岸	地先名	筑西　市・郡　町　村　下川島　地先				
場　所	45.1～45.7　km〔 構造物（　橋　）から　上　・下　流　m 〕						

■ 点検箇所　：　堤内地・裏のり面・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

平面方向

【堤外側】



【堤内側】

横断方向

【堤外側】　【堤内側】

出水期前の標準的な堤防（土堤）の点検事項

点　検　事　項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所よ局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・根固工の変状はないか。（あるいは出水期よりも進行していないか。）	
・水制工の変状はないか。（あるいは出水期よりも進行していないか。）	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。（あるいは出水期よりも進行していないか。）	✓
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、侵食等はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぼり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。（あるいは出水期前よりも発達していないか。）	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは濁水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の継目からの漏水・噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、継手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

天端の舗装が傷んでいる

整理番号	③－1

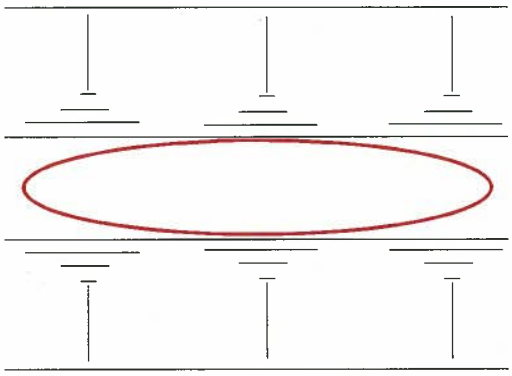
様式-2

関東地方整備局

水系名	利根川　川	河川名	鬼怒　川				
場　所	キロ	45.1km～45.7km	左右岸	右　岸	地先名	筑西　市　町　下川島　地先	
点検箇所	堤防天端						

■変状状況図面

延長　約600m



【 平 面 図 】

（堤内地）　（堤外地）

【 断 面 図 】

■変状状況写真

舗装が傷んでいる

様式－1

現場記入用　様式

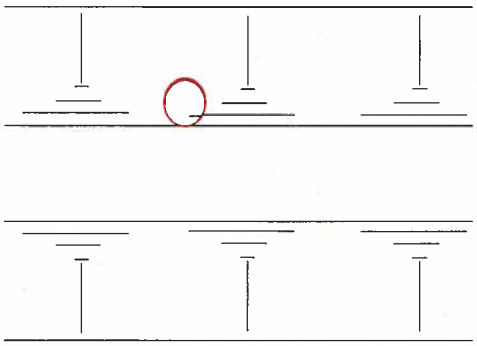
水系名	利根　川	河川名	鬼怒　川	点検者名	外山、佐々木、高野	点検年月日	平成26年　6月　9日(月)
岸　別	左・(右)　岸	地先名	小山　市・郡　町　村　延島　地先				
場　所	52　km〔 構造物(　橋　)から　上　・下　流　m 〕						

■ 点検箇所　：　堤内地・裏のり面・堤防天端・(表のり)面・堤外地

■ 状況図面

平面方向

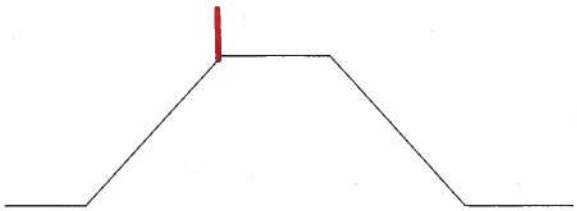
【堤外側】



【堤内側】

横断方向

【堤外側】　【堤内側】



出水期前の標準的な堤防(土堤)の点検事項

点　検　事　項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	✔
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所よ局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、侵食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぼり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは濁水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の継目からの漏水・噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、継手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

看板の柱が歪んでいる

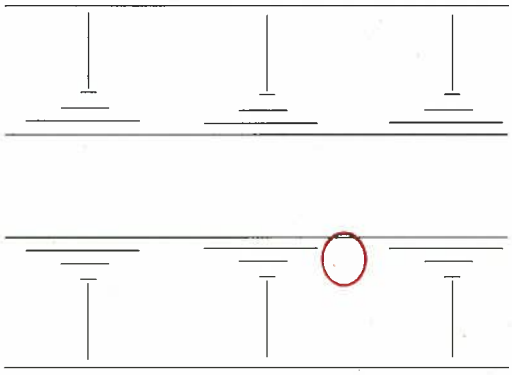
様式－2

整理番号	③－2

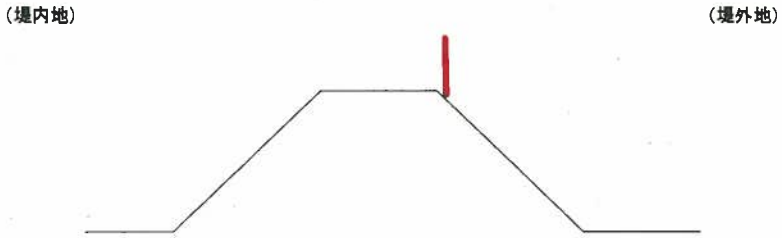
様式-2

水系名	利根川　川	河川名	鬼怒　川						関東地方整備局
場　所	キロ	52.0km	左右岸	右　岸	地先名	小山　市	町	延島	地先
点検箇所	表法面								

■変状状況図面



【 平 面 図 】



【 断 面 図 】

■変状状況写真

看板の柱がゆがんでいる

様式－1

現場記入用　様式

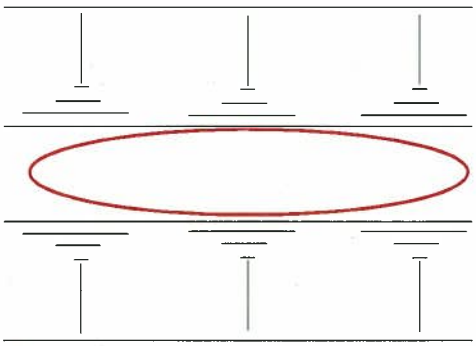
水系名	利根　川	河川名	鬼怒　川	点検者名	外山、佐々木、高野	点検年月日	平成26年　6月　9日(月)
岸　別	左・(右)　岸	地先名	小山　市・郡　町　村　田川　地先				
場　所	52.3m～52.5 km〔 構造物(　橋　)から 上 ・ 下 流　m 〕						

■ 点検箇所　：　堤内地・裏のり面・(堤防天端)・表のり面・堤外地

■ 状況図面

平面方向

【堤外側】



【堤内側】

横断方向

【堤外側】　【堤内側】

出水期前の標準的な堤防(土堰)の点検事項

点　検　事　項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所よ局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	✔
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、侵食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぼり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは濁水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の継目からの漏水・噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、継手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

舗装が傷んでいる

整理番号	③－3

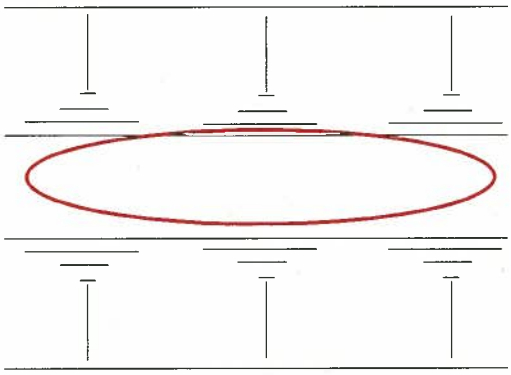
様式-2

関東地方整備局

水系名	利根川　川	河川名	鬼怒　川				
場　所	キロ	52.3km～52.5km	左右岸	右　岸	地先名	小山　市　町　延島　地先	
点検箇所	堤防天端						

■変状状況図面

延長　約200m



【 平 面 図 】

（堤内地）　（堤外地）

【 断 面 図 】

■変状状況写真

舗装が傷んでいる

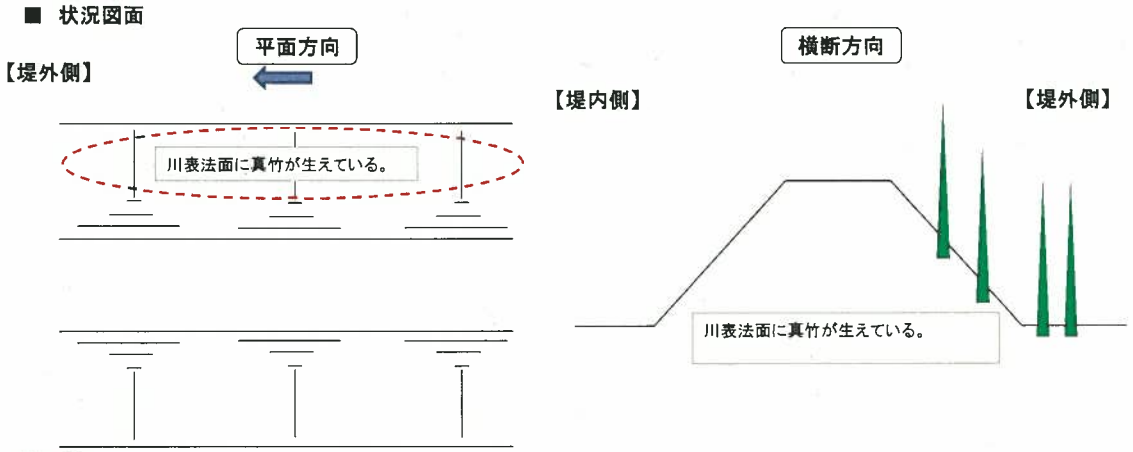
様式－1

現場記入用　様式

水系名	利根　川	河川名	鬼怒川　川	点検者名	竹渕・小沢	点検年月日	平成２６年６月２３日（月）
岸　別	(左)・右　岸	地先名	常総　(市)・郡　町　村　高野町　地先				
場　所	8.80～8.95　km	〔 構造物（高野排水樋管）から (上)・下　流　600　m 〕					

■ 点検箇所　　堤内地・裏のり面・堤防天端・(表のり面)・堤外地

■ 状況図面



出水期前の標準的な堤防（土堤）の点検事項

点　検　事　項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所よ局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・根固工の変状はないか。（あるいは出水期よりも進行していないか。）	
・水制工の変状はないか。（あるいは出水期よりも進行していないか。）	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。（あるいは出水期よりも進行していないか。）	
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、侵食等はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぼり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	✔
・堤脚保護工の変形はないか。（あるいは出水期前よりも発達していないか。）	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは濁水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の継目からの漏水・噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、継手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

川表法面に真竹が生えている（L=150m）

様式－2

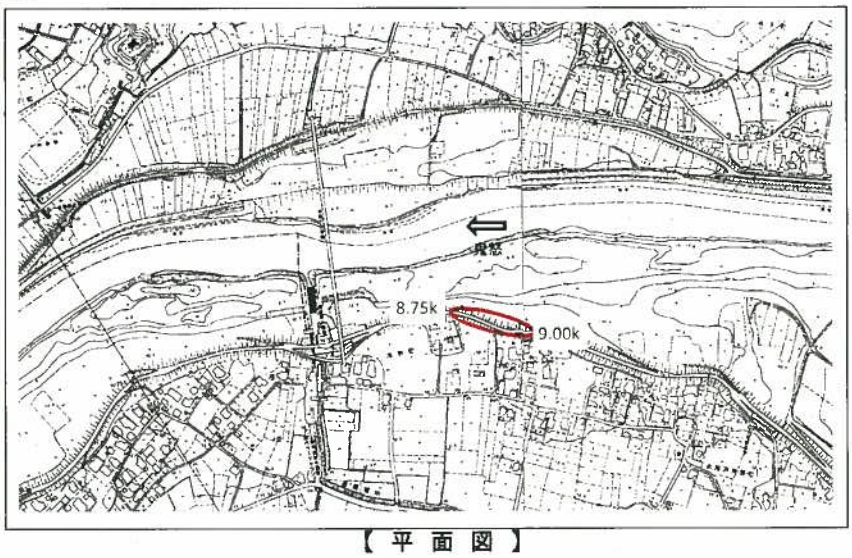
整理番号	

様式－ 2

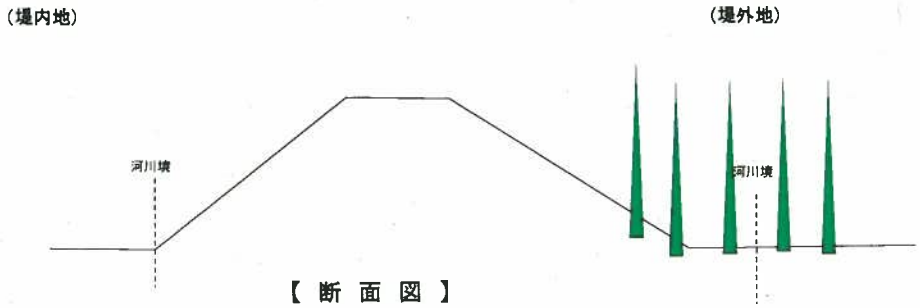
関東地方整備局

水系名	利根川　川	河川名	鬼怒川　川				
場　所	キロ	8.8～8.95 Km	左右岸	左　岸	地先名	常総　市　町　高野町　地先	
点検箇所							

■変状状況図面



【 平 面 図 】



【 断 面 図 】

■変状状況写真

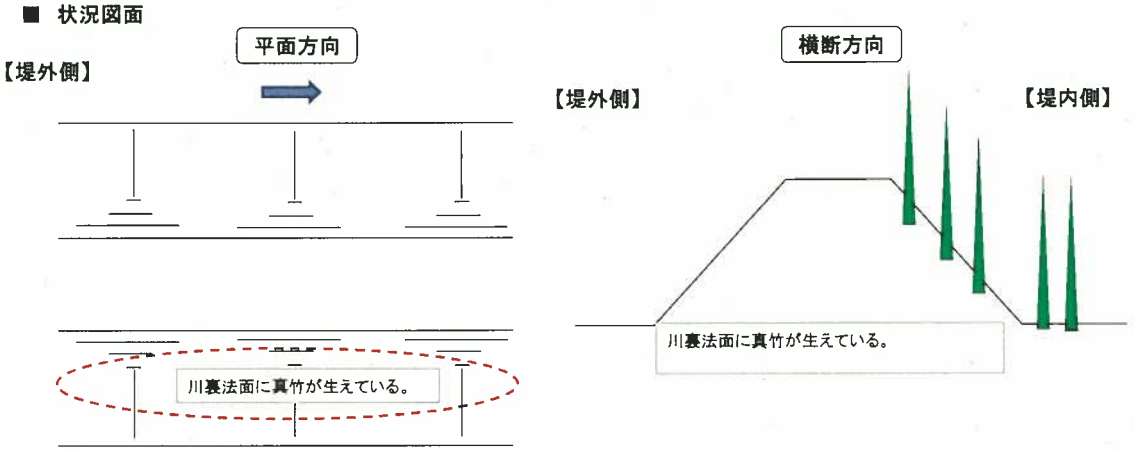
様式－1

現場記入用　様式

水系名	利根　川	河川名	鬼怒川　川	点検者名	竹渕・小沢	点検年月日	平成２６年６月２３日（月）
岸　別	左・(右)　岸	地先名	常総　(市)・郡　町　村　花島町　地先				
場　所	18.62～18.70 km	〔 構造物（二重堤樋管）から (上)・下　流　700　m 〕					

■ 点検箇所　　堤内地・裏のり面・堤防天端・(表のり面)・堤外地

■ 状況図面



出水期前の標準的な堤防（土堤）の点検事項

点　検　事　項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所よ局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・根固工の変状はないか。（あるいは出水期よりも進行していないか。）	
・水制工の変状はないか。（あるいは出水期よりも進行していないか。）	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。（あるいは出水期よりも進行していないか。）	
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、侵食等はないか。（あるいは出水期前よりも進行していないか。）	
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぼり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	✔
・堤脚保護工の変形はないか。（あるいは出水期前よりも発達していないか。）	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは濁水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の継目からの漏水・噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、継手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

川表法面に真竹が生えている（L=80m）

堤防天端付近まで生えている

様式－2

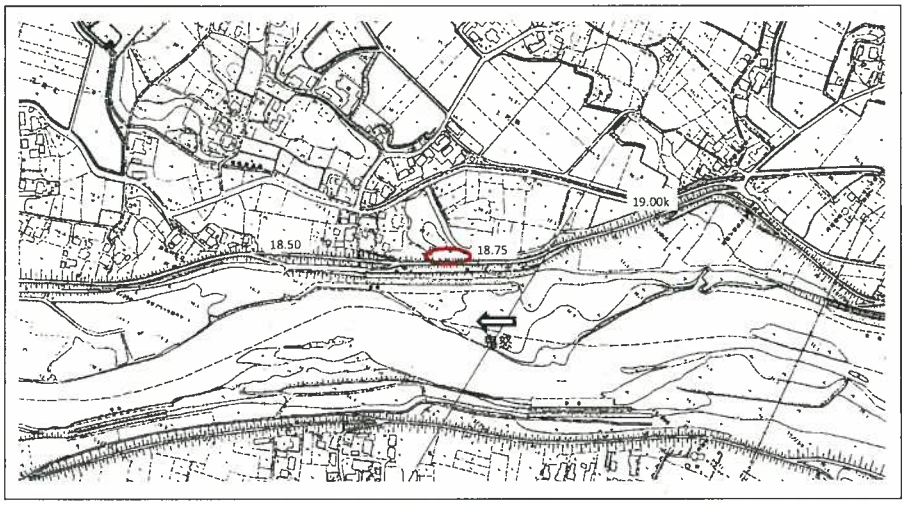
整理番号	

様式- 2

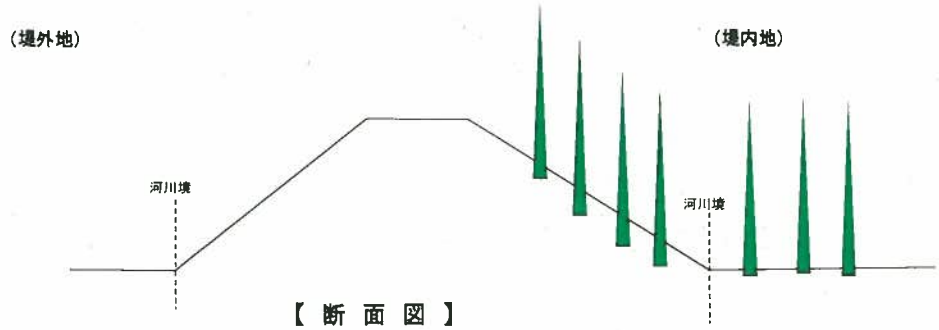
関東地方整備局

水系名	利根川　川	河川名	鬼怒川　川				
場　所	キロ	18.62～18.70k	左右岸	右　岸	地先名	常総市　市　町　花島町　地先	
点検箇所							

■変状状況図面



【 平 面 図 】



【 断 面 図 】

■変状状況写真